

# 飛躍へ「勝負の秋」に

## 大都市圏での認知カギ

### 「たかたのゆめ」東京で新米食味会

前年度から東日本大震災の復旧水田でも大規模に作付けされ、市がブランド米化を進める「たかたのゆめ」。本年度収穫した新米のおいしさを首都圏で発信する食味会が10日夜、東京・六本木で開かれた。大都市圏でどう認知度を高め、付加価値や農業者の所得向上につなげるか。さらなる飛躍に向け、踏ん張りどころに入ったとも言える。来場者は収穫の秋を迎えた喜びを共有しながら、地元内外の関係者がスクラムを組んだ形での発展に向けて意見を交わした。

新米や陸前高田産食 画。市に加え、これまで材を使った料理を味わ 販路拡大策を押し進 ってもらい、ブランド めてきた(旬)ビッグアッ プル(本社・仙台市)、 格的な生産が始まった 平成25年度から「復興



「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

デパートメント」でのインターネット販売を行っている。販路拡大、復興支援などにかかわる約60人が参加した。トークセッションの前半は戸羽太市長に加え、「お米ソムリエ」資格を持ちグルメブログなどが人気を集める橋本陽さん(市ふるさと納税選考委員)、一般社団法人

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

おにぎり協会の中村祐介会長が登壇。「たかたのゆめ」の良さや魅力をどう広めるかを語り合った。橋本さんは「粒立ちがよくて、あっさりし

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

陸前高田産の具材をふんだんに使ったおにぎりがズラリ―東京都(電子新聞に動画、別写真あり)

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

たおにぎりに加え、中心部をくりぬいたリングに詰めるといった創作的な一品も。参加者は味わいながら名刺交換などを行い、専門性や知識を紹介し合いながら新たな展開に向けたヒントを探った。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

一方で、多様なブランド米がひしめき合い、販路拡大や認知度向上の競争も激しさを増す。震災の風化といった現実も立ちほだかる中、さらなる新しさや独自性を意識した展開が求められている。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。

「たかたのゆめ」は本年度、33個人・団体が生産を担い、市内のコム作付面積の15%にあたる52診で生産。このうち、復旧田は40診を占める。生育が芳しくなかった水田をのぞき、農薬や化学窒素肥料を抑えた特別栽培米として生産した。収量は200ト超を見込む。